

企業理念

私たちは、地球環境に配慮し、
たゆまない技術開発と多様な事業活動を通じて、
豊かな社会の維持・発展に貢献する
企業グループを目指します。

環境理念

住友大阪セメントグループは、
地球環境と事業活動の調和を図り、
環境負荷の少ない生産・発電・物流の追求を通じて、
豊かな社会づくりと地球環境保全に貢献します。

行動指針

1. 信用を重んじ、健全な事業活動をおこないます。
2. 法令・規則を守り、社会良識に則って行動します。
3. お客様と社会の信頼や期待に応える製品・サービスを提供します。
4. 時代の変化に柔軟に対応し、効率的経営をおこない、
企業価値の向上をはかります。
5. 人権を尊重し、安全で活力あふれる職場環境をつくります。
6. 社員一人ひとりを大切にします。



Contents

- 1 企業理念／環境理念／行動指針
住友の事業精神／営業の要旨

Introduction

- 2 環境解決企業へのあゆみ
- 4 At a Glance

価値創造ストーリー

- 6 社長メッセージ
- 10 価値創造プロセス
- 12 中長期の価値創造実現に向けて
- 14 2023-25年度中期経営計画の概要
- 16 財務戦略
- 18 マテリアリティ
- 20 リスクと機会への対応

価値創造戦略

- 22 住友大阪セメントグループの事業別概況
- 28 特集：工場長メッセージ
「地域社会との共生」
- 30 研究開発
- 31 知的財産
- 32 人材戦略

価値創造を支える基盤

- 36 住友大阪セメントグループのサステナビリティ
- 36 サステナビリティ推進体制
- 38 "SOCN2050"に基づく取り組み
- 40 住友大阪セメントグループ2050年カーボンニュートラルに向けた11のステップ
- 46 気候変動に関わるシナリオ分析と影響度評価

- 49 生物多様性の保全
- 52 環境マネジメント
- 53 環境への取り組み
- 56 循環型社会への貢献
- 58 人権
- 60 品質
- 62 安全への取り組み
- 63 情報開示
- 64 社外取締役座談会
- 68 コーポレートガバナンス
- 72 役員一覧
- 74 リスクマネジメント
- 76 コンプライアンス

データセクション

- 77 第三者検証報告書
- 78 非財務情報ハイライト
- 80 連結財務ハイライト
- 82 連結貸借対照表
- 84 連結損益計算書
- 84 連結包括利益計算書
- 85 連結株主資本等変動計算書
- 86 連結キャッシュ・フロー計算書
- 87 会社概要／株式の状況

住友の事業精神

住友の事業精神の源流をたどると、1650年ごろ、初代・住友政友が遺した5カ条からなる『文殊院旨意書』にまで遡ることになります。これは政友が晩年、家人に宛てた書状であり、商人として守らなければならない心得が書かれており、仏教の教えを基に政友の処世観が強く表れています。これが「住友精神」の原点であり、その教えは、近代家法・社則の『営業の要旨』に「確実を旨とし、浮利に趨らず」として、まとめられています。つまり、目先の利益を追わず、信用を重んじ確実を旨とする経営姿勢は、住友の事業精神の神髄として、350年以上経った現在でも住友グループの事業精神として受け継がれています。これが、住友大阪セメントグループの企業理念の基盤となっています。



文殊院旨意書 (写真提供：住友史料館)

営業の要旨

第一条

我が住友の営業は、
信用を重んじ確実を旨とし、
以てその鞏固隆盛を期すべし

第二条

我が住友の営業は、
時勢の変遷、理財の得失を計り、
弛張興廢することあるべしと雖も、
苟も浮利に趨り、輕進すべからず

(住友社則「営業の要旨」1928年制定)

解説 第一条

住友の事業は、
信用を重んじ確実を旨として、
その隆盛を期すること。

第二条

時勢を見極め、経営資源を活かして
積極的に事業展開すべきであるが、
如何なる場合にも、浮利を求めて
輕率に行動してはならない。

参考にしたガイドライン

- GRIスタンダード
- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」

報告書の対象範囲

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日
対象会社：住友大阪セメント株式会社および
グループ会社